資料１

# 地球生きものプロジェクト一覧(概要)
（平成22年8月10日現在）

地球生きもの委員会の方針に沿い、国際生物多様性年及び国際生物多様性の日の普及に寄与するため、同委員会委員が実施する事業を「地球生きものプロジェクト」とし、プロジェクト毎にプロジェクトチームを設けて実施する。

■地球生きものプロジェクト名 （実施期間／実施主体）

1．記念行事

○平成21年度野生動物写真コンテスト入選作品展
（3月～／(財)自然公園財団）
　野生動物写真コンテストの入賞作品全32点の巡回展を、全国各地のビジターセンター等で開催する。

○平成22年度野生動物写真コンテスト
（7月～／(財)自然公園財団）
　第3回目の開催となる。今年度も環境省ほかの後援、協賛を得て、７月１日から作品募集を開始した。

○国際生物多様性年記念イベント
（4月／環境省）
　2010新宿御苑みどりフェスタの開催に合わせ、自然環境功労者大臣表彰式及び環境省地球いきもの応援団等による行動宣言式を行い、国際生物多様性年の気運を高める。

○第1回いきものにぎわい企業活動コンテスト
（6月／(社)日本経団連　自然保護協議会、(社)国土緑化推進機構、(社)日本アロマ環境協会、(財)水と緑の惑星保全機構）
　日本の企業の里山保全・再生といった豊かな生物多様性の保全や持続可能な利用等の実践的な活動を国内外に発信するとともに、特に優れた企業の実践活動を顕彰する。

○COP10／MOP5カウントダウン100
（7月／CBD市民ネットワーク）
　ＣＯＰ１０開催１００日前イベントの総称。「一日でわかる生物多様性」をテーマに市民が手掛ける最大級の普及啓発イベントとして国際生物多様性年を盛り上げていく。

○国際生物多様性年クロージングイベント
（12月／農林水産省、環境省、石川県、金沢市 などで構成する実行委員会）
　国際生物多様性年年の国際的なクロージングイベント（閉年行事）を、COP10議長国である日本で開催し、国際年における各国の取組やCOP10の成果等を世界にアピールする。

## ２．記念活動

**○グリーンウェイブ2010**
**（３月～５月／環境省、農林水産省、国土交通省）**
５月22日を中心として、青少年などが全国各地で植樹や植樹した樹木への水やりを行う活動を呼びかけるもの。

**○国際生物多様性年映像化プロジェクト**
**（５月～／堂本暁子委員、生物多様性JAPAN、(株)BS－TBS、(株)Green TV Japan、環境省）**
生物多様性とその重要性をわかりやすく伝える内容の映像を制作し、国際生物多様性の日（５月22日）に合わせてＢＳ放送で放映するとともに、ＤＶＤ化して自治体等に配布し、小学生等の学習活動に寄与する。

**○想いでつなごう！COP10おりがみプロジェクト**
**（５～12月／IUCN－J）**
COP10のロゴを形づくっている“おりがみ”を使ってCOP10会場を盛り上げると同時に、人々の想いをつなぎ、生物多様性（いのちのつながり）を大切にするきっかけを提供する。

**○生物多様性国民運動　全国いきもの巡りスタンプラリー**
**（７月～／環境省）**
各地の自然とふれあい、生物多様性に関して知識や理解を深め、具体的な保全活動につながる契機を得ることを目的とし、国立公園のビジターセンターなどで実施する自然体験プログラム等に参加してもらうスタンプラリーを実施する。

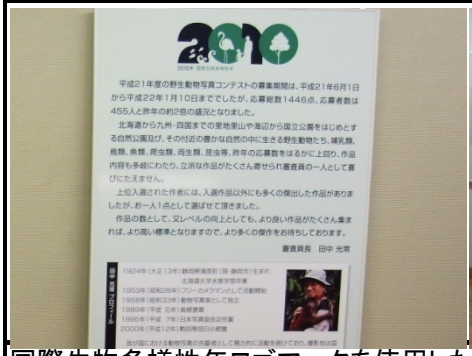
**○国際生物多様性年自然とのふれあい展示**
**（８～10月／国立公園サポーターズ、環境省）**
生物多様性に関して子どもたちが制作した絵画、ポスター、イラスト等の優秀作品の展示や、野生生物に関する写真展を開催する。

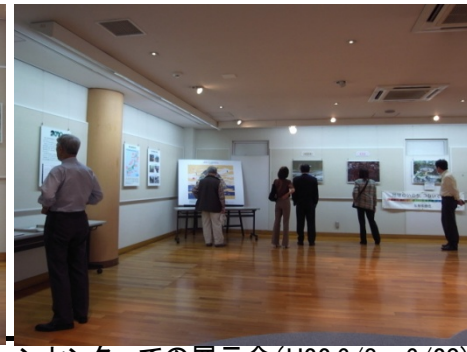
**○地球のことはみんなで語り合おう**
**（通年／CBD市民ネットワーク）**
インターネットメディアに市民の知見経験などが蓄積され、多くの市民が引用し新たな行動を育む、市民による生物多様性バーチャルシンクタンク企画。

# 【地球生きものプロジェクト】報告シート　※終了したプロジェクト

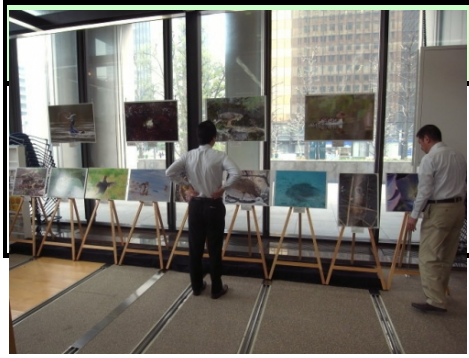
| | | |
|---|---|---|
| 概要 | 名称 | 平成21年度 野生動物写真コンテスト～自然界に生きる野生動物たち～ |
| | 実施主体 | 財団法人自然公園財団 |
| | 実施日時 | （募集期間）平成21年６月１日～平成22年１月１０日 |
| | 実施場所 | 全国 |
| | 参加人数 | 応募総数 1446点、応募者数 455人 |
| 背景及び目的 | | 私たちの国土は南北に長い列島の特徴的な自然にいだかれている。繊細微妙な季節の移ろいのなかで多くの命を育み、豊かな生物多様性を支えている。私たちのごく身近な里山や海辺も生きものの気配に満ち溢れている。野生動物写真コンテストは、このような自然の中の生きものたちの命と営みを写真によって記録していこうという願いを持って実施するもの。 |
| 結果 | | 北海道から九州・沖縄までの里地里山や海辺から国立公園をはじめとする自然公園及び、その付近の豊かな自然の中に生きる野生動物たち、哺乳類、鳥類、魚類、爬虫類、両生類、昆虫等、多数の応募があり、作品内容も多岐にわたった。小・中学生～80歳台まで幅広い年齢層から応募があった。<br>厳正な審査により最優秀賞・環境大臣賞以下３２点の入賞作品を決定。入賞作品をビジターセンター等で展示する全国巡回展を平成22年3月以降、順次開催中。また、入賞作品集パンフレットを15,000部作成し配布中である。 |

当日の様子(写真等)





国際生物多様性年ロゴマークを使用した展示パネルと、新宿御苑インフォメーションセンターでの展示会（H22.6/8～6/20）



各地で展示会を開催。　写真左：世界銀行情報センター（H22.3/15～3/26 東京日比谷・富国生命ビル1階）

写真中央：支笏湖ビジターセンター（H22.4/1～4/18）、　写真右：洞爺湖ビジターセンター（H22.5/22～6/1）

## 【地球生きものプロジェクト】報告シート　※現在進行形のプロジェクト

| | | |
|---|---|---|
| 概要 | 名称 | 平成22年度 野生動物写真コンテスト～自然界に生きる野生動物たち～ |
| | 実施主体 | 財団法人自然公園財団 |
| | 実施日時 | （募集期間）平成22年7月1日～平成23年1月10日 |
| | 実施場所 | 全国 |
| 背景及び目的 | | 人の暮らしに深く関わってきた里地里山や海辺から国立公園などに代表される豊かな自然の中で生きる野生動物の姿を写真によって記録していこうという願いを持って実施する。併せて、国際生物多様性年、COP10開催を広報する。 |
| 進捗状況 | | 第3回目の開催となる。今年度も環境省ほかの後援、協賛を得て、7月1日から作品募集を開始した。ポスター300枚、募集チラシ43,000枚を全国のビジターセンター等に発送作業中。自然公園財団のホームページに掲載したほか、今後各種公募雑誌、写真雑誌等へも掲載依頼する。子ども部門への参加応募を増やすため「こどもエコクラブ」等にも広報を依頼する予定。 |

**その他**

左：ポスター（A2）　右：募集チラシ（A4）

# 【地球生きものプロジェクト】報告シート　※終了したプロジェクト

| | | |
|---|---|---|
| 概要 | 名称 | 国際生物多様性年記念イベント |
| | 実施主体 | 環境省 |
| | 実施日時 | 2010年4月29日 |
| | 実施場所 | 新宿御苑（東京都新宿区） |
| | 参加人数 | ― |
| 背景及び目的 | | 2010新宿御苑みどりフェスタの開催に合わせ、自然環境功労者大臣表彰式及び地球いきもの応援団等によるMY行動宣言式を行い、国際生物多様性年を盛り上げるもの。 |
| 結果 | | 「みどりの日」自然環境功労者環境大臣表彰式表彰者：32人<br>MY行動宣言：鳩山元首相、小沢環境大臣、江戸家猫八、榊原郁恵、田中律子、松本志のぶ、ルー大柴。（以上、敬称略）<br>報道参加社：TV8社、新聞9社、通信2社 |

**当日の様子(写真等)**

**その他**

鳩山元首相、小沢環境大臣、江戸家猫八、榊原郁恵、田中律子、松本志のぶ、ルー大柴によるみどりフェスタ巡視を実施。
また、ステージにてさかなクンとトークショウを行う。

# 【地球生きものプロジェクト】報告シート　※現在進行形のプロジェクト

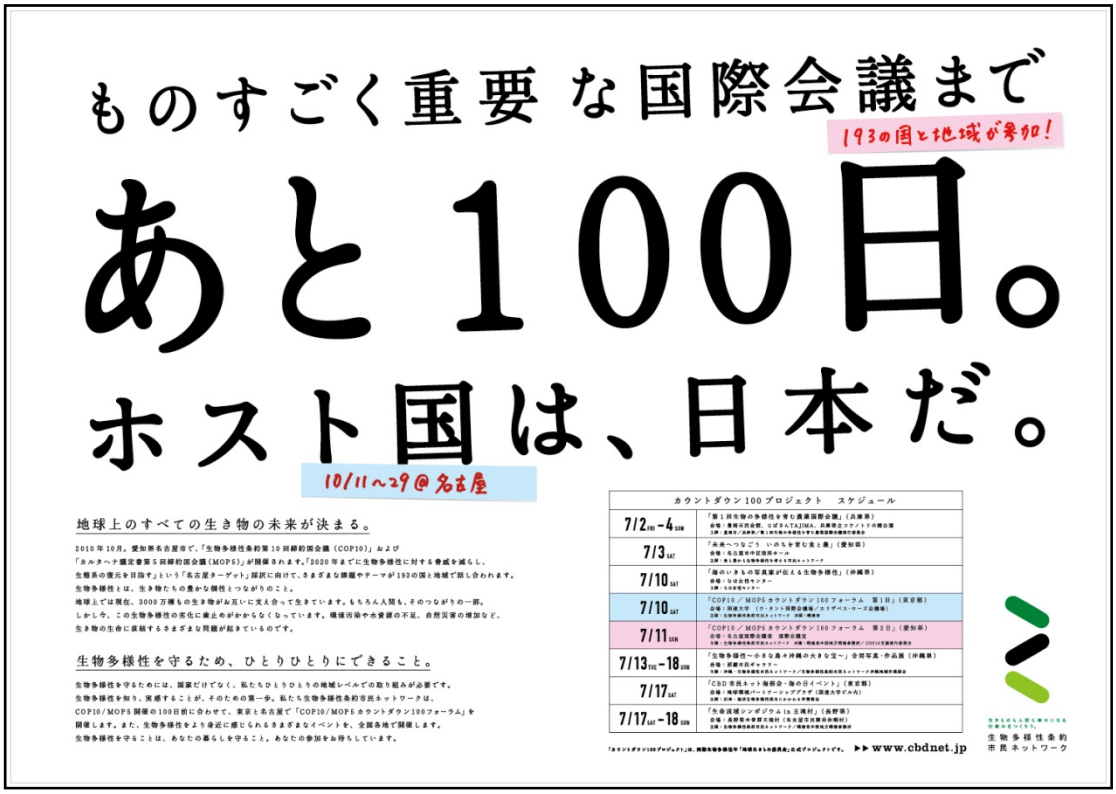
| | | |
|---|---|---|
| 概要 | 名称 | 第1回　いきものにぎわい企業活動コンテスト<br>―企業の生物多様性保全等実践活動顕彰― |
| | 実施主体 | いきものにぎわい企業活動コンテスト実行委員会<br>経団連自然保護協議会　(社)国土緑化推進機構<br>(社)日本アロマ環境協会　(財)水と緑の惑星保全機構 |
| | 実施日時 | 応募期間：平成21年11月27日～平成22年３月１日<br>表　彰　式：平成22年６月19日(土)13:00～15:30<br>実施期間：平成21年11月27日～平成23年３月31日 |
| | 実施場所 | 表　彰　式：港区立エコプラザ<br>広報活動：COP10会場他 |
| 背景及び目的 | | 「生物多様性条約第10回締約国会議（COP10）」を契機に、日本の企業の里山保全・再生といった豊かな生物多様性の保全や持続的な利用等の実践的な活動を国内外に発信するとともに、特に優れた企業の実践活動を挙げて顕彰するため、新たな表彰制度を創設し、第1回の募集・表彰を行う。 |
| 進捗状況 | | 応募期間に、自薦、他薦を合わせて、154件の応募があり、一次審査の結果、90件が二次審査対象となりました。<br>さらに、この90件の中から、二次審査の結果、特に優秀であると認められた、環境大臣賞、農林水産大臣賞をはじめとした、12件の活動が受賞しました。<br>今後、受賞活動等をホームページ・印刷物等を通じて広報し、COP10の場でも日本の企業活動事例として紹介します。第２回の開催も予定しています。 |

## その他

第1回　いきものにぎわい企業活動コンテスト　表彰式
平成22年6月19日　港区立エコプラザ

※受賞企業活動等、別添、表彰式のプログラムをご参照ください。

# 【地球生きものプロジェクト】報告シート　※現在進行形のプロジェクト

| | | |
|---|---|---|
| 概要 | 名称 | 「COP10／MOP5カウントダウン100」 |
| | 実施主体 | 生物多様性条約市民ネットワーク |
| | 実施日時 | 7月 |
| | 実施場所 | 東京、愛知、兵庫、沖縄、 |
| 背景及び目的 | | COP10／MOP5の、開催100日前を節目として、市民による市民のためのフォーラムを開催。このフォーラムは、10月のCOP10／MOP5が、市民の声を届けるべき会議であることを周知してもらうことが目的。そのため、CBD市民ネットから産・官・学・民のさまざまな立場の方々に呼びかけ、各主体間の垣根を越え、講演や共同報告を行い、フォーラム全体で「生物多様性条約」が一日でつかめる構成となっている。 |
| 進捗状況 | | 「週刊文春」C2見開き　7月1日発売<br>  <br> | |

# 【地球生きものプロジェクト】報告シート　※現在進行形のプロジェクト

| | | |
|---|---|---|
| 概要 | 名称 | 国際生物多様性年クロージングイベント |
| | 実施主体 | 環境省・国際生物多様性年クロージングイベント開催実行委員会 |
| | 実施日時 | 平成22年12月18日（土） ～ 平成22年12月19日（日） |
| | 実施場所 | 石川県金沢市ほか |
| 背景及び目的 | | 2010年（平成22年）は国連の定めた国際生物多様性年であり、また、日本で生物多様性条約第10回締約国会議（COP10）が開催される重要な年である。そのため、国際年の国際的なクロージングイベントを、COP10議長国である日本で開催しCOP10での成果等を世界にアピールするものである。 |
| 進捗状況 | | 平成22年 ３月２５日　地球いきものプロジェクトとして承認<br>平成22年 ６月 ３日　IYBクロージングイベント開催実行委員会を設立<br>〃　同幹事会開催<br>平成22年 ６月30日　連絡調整会議開催 |
| その他 | | |
| | | |

# 【地球生きものプロジェクト】報告シート　※終了したプロジェクト

| | | |
|---|---|---|
| 概要 | 名称 | グリーンウェイブ2010 |
| | 実施主体 | 主唱：環境省、国土交通省、林野庁 |
| | 実施日時 | 平成22年３月１日（月）～平成22年５月31日（月） |
| | 実施場所 | 全国各地 |
| | 参加人数 | ※結果を参照 |
| 背景及び目的 | | ・生物多様性条約事務局が、「国際生物多様性の日」の現地時間の午前10時に、世界各地の青少年の手で、それぞれの学校の敷地などで植樹を行おう、と呼びかけているもの。この行動が地球上を東から西へ波のように広がっていく様子を「緑の波（グリーンウェイブ）」と表現している。<br>・環境省、国土交通省及び林野庁は、生物多様性に関する認識を促し、生物多様性の保全と持続可能な利用を促進するとともに、国際生物多様性年や生物多様性条約第10回締約国会議（COP10）の日本開催に対する機運を高めることなどをねらいとして、本年３月１日（月）より５月31日（月）までの期間、「国際生物多様性の日（５月22日）」を中心として、青少年などが全国各地で植樹等を行う「グリーンウェイブ2010」の実施を呼びかけた。 |
| 結果 | | 植樹行事を行った・植樹行事に参加した団体：1,587団体<br>その他の協力団体：41団体<br>植樹された本数：約22万４千本<br>植樹に参加した人数：約10万８千人<br>（注：結果は集計中であり、変わる可能性があります。） |

**当日の様子(写真等)**

東京・海の森

北海道・弟子屈町立川湯小学校

石川県・金沢大学

**その他**

## 【地球生きものプロジェクト】報告シート　※現在進行形のプロジェクト

| | | |
|---|---|---|
| 概要 | 名称 | 国際生物多様性年映像化プロジェクト |
| | 実施主体 | 堂本暁子委員、生物多様性JAPAN（代表：岩槻邦男委員）、（株）BS-TBS、（株）TBSビジョン、Green TV Japan. LLC、環境省 |
| | 実施日時 | 平成22年5月22日（BS-TBSにて放送済み） |
| | 実施場所 | － |
| 背景及び目的 | | 生物多様性の普及啓発の促進、国際生物多様性年とCOP10の普及啓発のため、生物多様性とその重要性を分かりやすく伝える内容の映像を制作し、生物多様性の日（5月22日）に合わせて放送するとともに、DVD化して全国の小中学校等に配付する。 |
| 進捗状況 | | ・TBS及びGreenTV保有の既存映像を中心に映像を作成し、平成22年5月22日（国際生物多様性の日）に、BS-TBSにて1時間枠で放送。<br>・教育用映像教材及びCOP10普及啓発用として、上記映像を再編集作業中。<br>・今後はDVD化し、学校配付や普及イベントでの上映を行うほか、デジタルコンテンツ化してインターネットで配信する予定。 |
| | | |
| 映像出演：イルカ委員、岩槻邦男委員　他 | | |

## 【地球生きものプロジェクト】報告シート　※現在進行形のプロジェクト

<table>
<tr><td rowspan="4">概要</td><td>名称</td><td>想いでつなごう！COP10おりがみプロジェクト</td></tr>
<tr><td>実施主体</td><td>国際自然保護連合日本委員会</td></tr>
<tr><td>実施日時</td><td>5月SBSTTA／WGRI期間中、その他</td></tr>
<tr><td>実施場所</td><td>ケニア・ナイロビ、名古屋、東京など</td></tr>
<tr><td colspan="2">背景及び目的</td><td>生物多様性条約締約国会議(CBD-COP10/MOP5)が日本で開催されるこの貴重な機会に、COP10のロゴのおりがみをコミュニケーションツールとして用い、さまざまなセクターでの生物多様性及びCBD-COP10の認知拡大と国際会議への多様な参加の機会の提供を目的とする。</td></tr>
<tr><td colspan="2">進捗状況</td><td>2010年5月、ケニアナイロビで開催されたSBSTTA/WGRIにて、条約事務局の協力により、会場廊下の一角におりがみプロジェクト用のブースを設置。SBSTTA/WGRI参加者の政府代表団やNGO等からおりがみと個人の2020年へのメッセージをいただく。<br>その他ナイロビ大学生を中心としたユースのグループや孤児院でもプロジェクト実施。<br><br>5/22（土）国際生物多様性の日　名古屋でのCOP10半年前イベントにて、プロジェクト実施。<br><br>6/27（日）東京にて、おりがみを折るだけでなく、生物多様性の話もできるCOP10おりがみプロジェクトサポーター養成ワークショップを実施。<br><br>6/28（月）神奈川県平塚市の小学校でおりがみプロジェクトを実施。</td></tr>
<tr><td colspan="3">その他</td></tr>
<tr><td colspan="3">プロジェクトホームページ5/21開設：www.cop10-origami.com<br>日経新聞（5/21）、中日新聞(5/23)、朝日新聞(5/25)に記事掲載。環境gooにて6月より連載スタート。<br>随時、ホームページのブログにてお知らせや報告を更新中。<br>Twitter, facebookといったソーシャルメディアでも世界に向けて発信中。<br>世界、全国各地から参加協力の問い合わせ、申込あり。<br><br>今後の予定：<br>・名古屋市科学館での夏休み企画展（7/19～8/31）での展開<br>・子どもエコクラブ行事での展開<br>・石川県いしかわ環境フェア（8月）での展開、国際生物多様性年クロージングイベントとの調整開始</td></tr>
</table>

## 【地球生きものプロジェクト】報告シート　※現在進行形のプロジェクト

| | | |
|---|---|---|
| 概要 | 名称 | 生物多様性国民運動関連事業「全国自然いきものめぐりスタンプラリー」 |
| | 実施主体 | 環境省・全国自然いきものめぐりスタンプラリー実行委員会 |
| | 実施日時 | 平成22年７月21日（予定）～平成25年３月31日 |
| | 実施場所 | 国立公園内のビジターセンター等の施設　８４箇所<br>①環境省が整備したビジターセンター・野生生物保護センター・世界遺産センター・水鳥・湿地センター等<br>②財団法人自然公園財団が整備したビジターセンター等<br>③上記の施設がない国立公園については、都道府県のビジターセンター等にも協力を依頼する |
| 背景及び目的 | | 世界的な都市化の進展により子ども達が自然とふれあう機会が減少しているなか、生物多様性条約事務局は若者の自然へのふれあいを強く推奨している。<br>本年は、国連の定めた国際生物多様性年であり、また、日本では10月に生物多様性条約第10回締約国会議（COP10）が開催される。<br>このため、全国の国立公園内に設置されたビジターセンター等の協力を得てスタンプラリーを実施し、国民が各地の国立公園を訪問し、自然とふれあうことで、自然環境や生物多様性に関して知識や理解を深め、具体的な保全活動につながる契機を得ること、国際生物多様性年とCOP10開催を国民運動として盛り上げることを目的とする。 |
| 進捗状況 | | スタンプラリーの開始に向けて、ビジターセンター等との連絡調整を行うほか、ポスター、チラシ、スタンプ、スタンプラリーシート等の実施に必要な物品の制作を行っているところ。また、７月８日に第１回実行委員会を開催する。 |
| その他 | | |
| | | |

# 【地球生きものプロジェクト】報告シート　※現在進行形のプロジェクト

| | | |
|---|---|---|
| 概要 | 名称 | 「国際生物多様性年自然とのふれあい展示」プロジェクト |
| | 実施主体 | 国立公園サポーターズ<br>・(財)自然公園財団<br>・(財)国立公園協会<br>・(財)休暇村協会<br>・(財)日本鳥類保護連盟<br>・(財)自然環境研究センター<br>・(財)自然共生技術協会<br>・NPO法人　日本国際湿地保全連合<br>・学校法人　東京環境工科学園<br>環境省 |
| | 実施日時 | 第1回:「子どもの目から見た生物多様性絵画展」8月10日～9月5日<br>第2回:「野生生物写真展」10月26日～10月31日 |
| | 実施場所 | 新宿御苑インフォーメーションセンター　アートギャラリー |
| 背景及び目的 | | 生物多様性の普及啓発の促進とCOP10の認知度の向上のため、生物多様性に関して子どもたちが制作した絵画、ポスター、イラスト等の優秀作品の展示や、野生生物に関する写真展を開催する。 |
| 進捗状況 | | 8月開催の「子どもの目から見た生物多様性絵画展」に向けて、出展作品の選定、会場設営、当日運営等について検討を行っているところ。 |
| その他 | | |
| | | |

# 【地球生きものプロジェクト】報告シート　※現在進行形のプロジェクト

| | | |
|---|---|---|
| 概要 | 名称 | 「地球のことはみんなで語り合おう」 |
| | 実施主体 | 生物多様性条約市民ネットワーク |
| | 実施日時 | 通年 |
| | 実施場所 | Yahoo！グリーンプロジェクト、環境goo、生物多様性じぶん条約、i-dialog |
| 背景及び目的 | | 言葉では理解が難しいが、実は生活と直結する生物多様性を、インターネット上に誰もが参加して理解を深められる対話システムを構築し普及啓発を推進していく。 |
| 進捗状況 | | |